

はじめに

この度は、ハイパワーキーレス【パワーロックマン】をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品は、専用リモコンで車両のロック・アンロックが行えるキーレスエントリーです。

注意事項

- 本製品は12V車用です。取り付ける前に車両の仕様をご確認ください。
- 取り付けを業者の方に依頼される場合も含め、いかなる場合も工賃はお支払いしません。
- 本製品が原因で発生したお客様の損害は、当社では一切、賠償の責を負いません。同意できない場合は、取り付け前に規定に基づき返品して下さい。
- 必ず取付説明書に従って配線して下さい。
- 接続しない線は、必ず絶縁処理して下さい。
- 取り付け作業が終わると、配線をまとめて、運転の妨げにならないような場所に格納して下さい。
- 本体はドアの中には設置しないようにして下さい。水濡れや振動で故障の原因になります。

製品構成



- ① 受信機**
- ② ハザード接続モジュール**
ハザードアンサーバックするためのモジュールです。
1本側をCN1の灰線、2本側を左右それぞれのウインカーに接続して下さい。
- ③ CN1 12ピンハーネス**
メインハーネスです。
- ④ リモコン 2個**
リモコンは4ボタンタイプになります。 使用電池:CR2032 1個
- ⑤ リモコン用キーチェーン 2個**
リモコンに付けてご利用下さい。

主な有料オプション



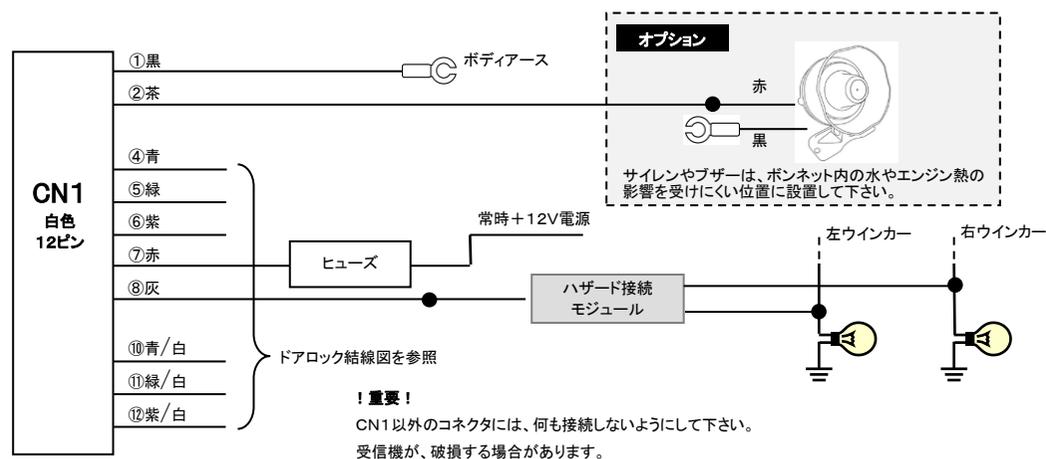
ドアロックモーター
車両によって必要です。

ワイヤー式対応アダプター
ドアロックがワイヤー式の車両に
ドアロックモーターを取り付ける
場合に必要です

サイレン/ブザー
サウンドアンサーバックします。

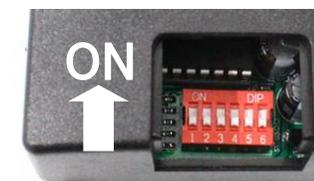
スペアリモコン
1個の受信機に最大30個まで
登録可能です。

配線方法



配線方法

コントローラの小窓を開け、中の DIP スイッチで各種設定を変更できます。
設定変更は、CN1ハーネスを抜いて行って下さい。
初期設定は、全て OFF に設定されています。



DIP スイッチ	設定項目	ON	OFF
1	サウンドアンサーバック回数	ロック時: 2回 アンロック時: 3回	ロック時: 1回 アンロック時: 2回
2	ハザードアンサーバック回数	ロック時: 2回 アンロック時: 3回	ロック時: 1回 アンロック時: 2回
3	サウンドアンサーバック	ブザー	サイレン
4	未使用	必ずOFFで使用	
5	未使用	必ずOFFで使用	
6	リモコンセットアップ用	取扱説明書参照	

操作方法

ボタン	マーク	アンサーバック		機能
		ハザード	サウンド	
ロック		1回	1回	ロックします。
アンロック		2回	2回	アンロックします。
カーサーチ		点滅	—	ハザードが30秒間点滅します。 いずれかのボタンを押すと消灯します。
ウェルカム		点灯	—	ハザードが30秒間点灯します。 いずれかのボタンを押すと消灯します。

※ サウンドアンサーバックは、サイレンまたはブザーを接続した場合に有効です。

■ サイレント機能

カーサーチ中に、「ロック」・「アンロック」を押すと、サウンドアンサーバックを一時的にキャンセルします。

リモコンセットアップ方法（スペアリモコン購入時のみ）

【注意】

セットに同梱しているリモコン2個は、すでに受信機にセットアップされています。
追加リモコン購入時にこの作業を行って下さい。



① DIP スイッチ6を ON にし、CN1ハーネスを接続します。



② CN1ハーネスを接続した状態で、DIP スイッチ6を OFF にします。

■ リモコンを追加登録する場合（左記の①～②の後の操作）



- ③ 追加登録するリモコンの「アンロック」ボタンを押します。
- ④ 受信機のハザードリレーが5回動作し、リモコンが登録されます。

【注意】

- ・登録済みのリモコンで③の操作を行った場合、ハザードリレーが高速動作して、既に登録されていることをお知らせします。
- ・リモコンは1つの受信機に最大30個まで登録可能です。
- ・31個目以降のリモコン登録時は、ハザードリレーが同様に高速動作し、登録できないことをお知らせします。

■ リモコンの登録を消去する場合（左記の①～②の後の操作）



- ③ DIP スイッチ6を ON にします。受信機のハザードリレーが10回動作し、全てのリモコンの登録が消去されます。
- ④ 再登録を行う場合は、CN1ハーネスを外し、①の操作から行って下さい。

トラブルシューティング

■ リモコンで動作しない場合は、以下の作業を行って下さい。

- (1) リモコンの電池を交換して下さい。
出荷時の電池はあくまでモニター電池ですので、本来の寿命より短い場合があります。感度が徐々に落ちてきた場合は、新しい電池に交換して下さい。リモコンの LED が光っている場合でも電池が弱くなっている可能性があります。
- (2) リモコンのセットアップを行って下さい。
セットアップ方法は、同ページに記載しています。
- (3) ドアロック配線検査手順を行って下さい。
必ず順序1番から5番まで、すべて確認して下さい。

CEP Electronic technology
produced by
Com Enterprise Inc.
<http://cepinc.jp>

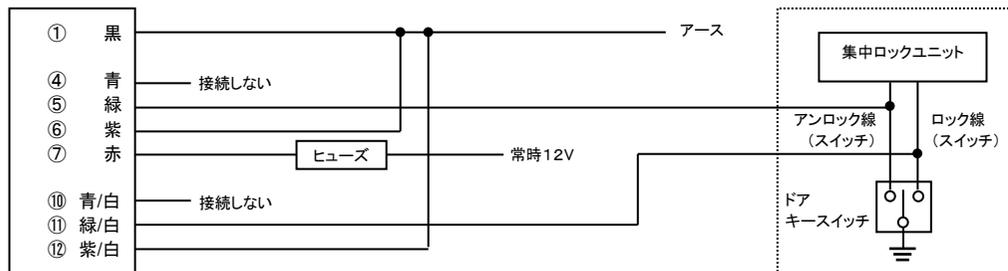
有限会社コムエンタープライズ
〒671-1131 兵庫県姫路市大津区天神町2-78
【TEL】079-230-2323 【FAX】079-230-2221
【MAIL】info@cepinc.jp

ドアロック基本結線図 (ロック・アンロック関連の配線のみ抜粋しています。)

(必ず当社のホームページで配線タイプを確認して配線して下さい。)

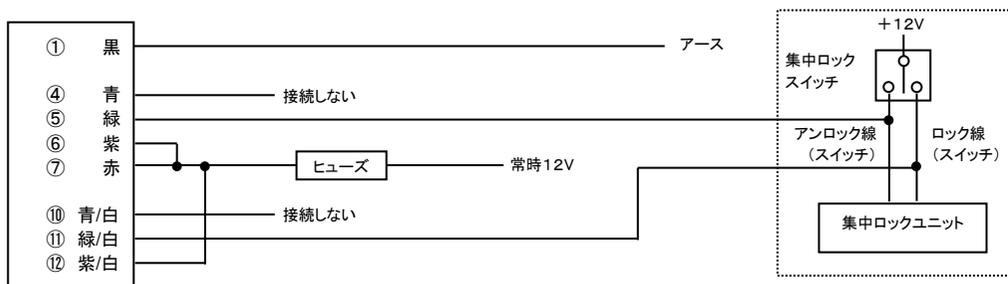
Aタイプ

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、マイナスコントロール(信号線をアースに接続するとロック・アンロック)の車種
当社集中ロックキットと組み合わせて取り付けする場合



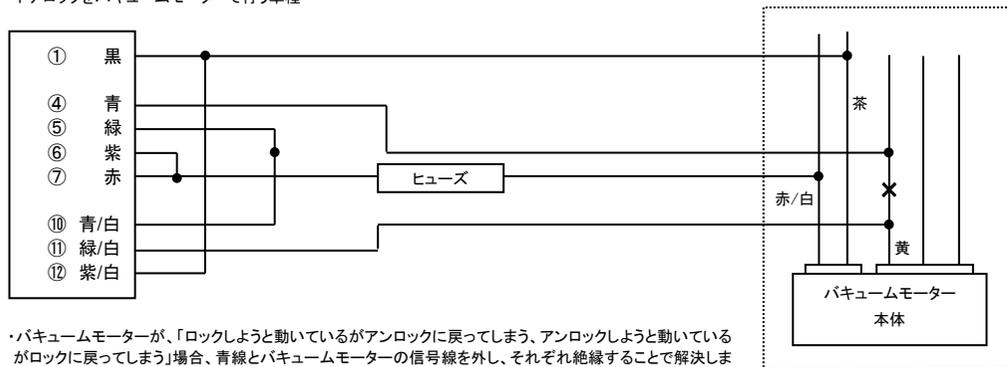
Dタイプ (例: BMW E32・E34・E36・E38・E39 等、GOLF3 やアメ車の一部)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、プラスコントロール(信号線を+12Vに接続するとロック・アンロック)の車種



ペンツタイプ (例: W124・W126・W201・R129・R107 後期等)

ドアロックをバキュームモーターで行う車種



・バキュームモーターが、「ロックしようと動いているがアンロックに戻ってしまう、アンロックしようと動いているがロックに戻ってしまう」場合、青線とバキュームモーターの信号線を外し、それぞれ絶縁することで解決します。(ただし、トランクから鍵穴でロック・アンロックしても集中ロックは利きませんが、その他のドアは通常通り集中ロックになります。また、リモコンですべてのドアがロック・アンロックできますので、実運用上は問題ありません。)

車種別配線情報は、次のページを参考して下さい。

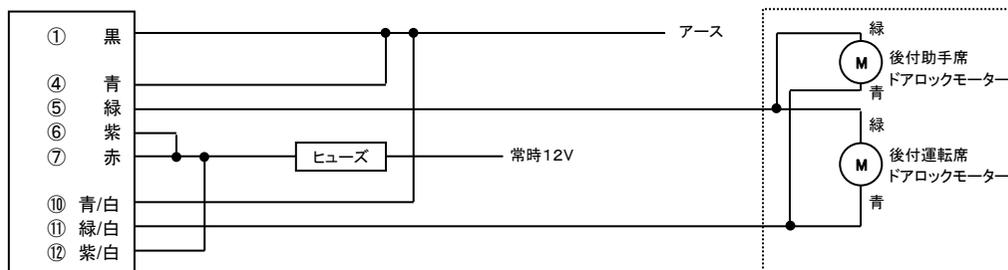
<http://cepinc.jp/chumon/torisetu/torisetu.html>

パスワードは、CMP553 (半角大文字+半角数字)

Bタイプ (ドアロックモーターを後付けする車)

ドアロックモーターが付いていない車種

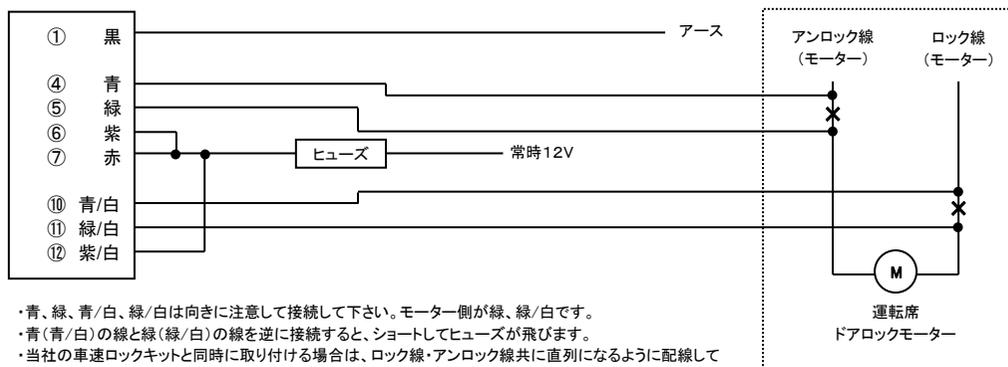
【注意】当社集中ロックキットと一緒に取り付ける場合は、集中ロックキットの取説を参考に配線を行って下さい。ロックマンの配線タイプはBタイプではなく、Aタイプになります。Bタイプで配線すると、受信機や集中ロックキットのコントローラが故障する場合があります。



・ドアロックモーターの取り付け方向によっては、緑と青の配線が逆になる場合があります。
・ドアロックモーターを2個以上使用する場合は、図のように並列に接続して下さい。

Cタイプ

全ドアにドアロックモーターが付いていて、運転席のロックノブで集中ロックができる車種



・青、緑、青/白、緑/白は向きに注意して接続して下さい。モーター側が緑、緑/白です。
・青(青/白)の線と緑(緑/白)の線を逆に接続すると、ショートしてヒューズが飛びます。
・当社の車速ロックキットと同時に取り付ける場合は、ロック線・アンロック線共に直列になるように配線して下さい。

【車速ロックキットを併設する場合のアンロック線の配線例】

- ① 図のようにアンロック線をカット後、モーター側のアンロック線に本体の緑線を接続。
- ② 本体の青線を車速ロックキットの緑線へ接続。
- ③ 車速ロックキットの青線を車両側のアンロック線に接続。

【常時電源について】

赤線の電源は、必ず15A以上の容量の大きな線に接続して下さい。
(オーディオ裏は、容量が小さいので正常に動作しなかったり車両のヒューズが切れる可能性があります。)

【サイレン・ハザード出力について】

茶線や灰線を接続しない場合は、どこにも接続せずに必ず絶縁して下さい。

ドアロック配線検査手順

- ・検査は必ず受信機からコネクタを抜いて行って下さい。
- ・必ず1番から5番まで、順番にすべて確認して下さい。
- ・手順以外の差込は破損の原因になりますので、絶対にしないように注意して下さい。
- ・検査ピンが熱くなる場合がありますので、検査時は必ず軍手等を使用して下さい。



Aタイプ（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む	ロック	緑／白または黒線の結線不良
2	緑と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	紫／白線の結線不良
4	緑と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線または赤線の結線不良
6	本体を接続し、リモコンで動作させる。	ロック・アンロック	本体またはリモコンの初期不良等（注1参照）

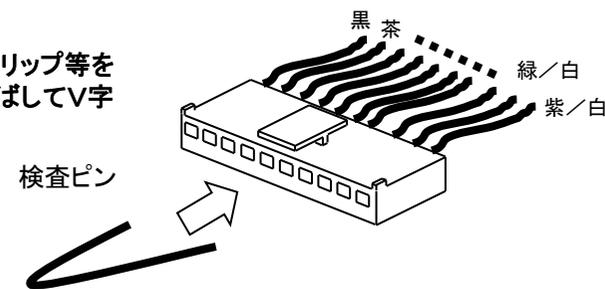
Dタイプ（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑／白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	紫／白線の結線不良
4	緑と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線の結線不良
6	本体を接続し、リモコンで動作させる。	ロック・アンロック	黒線の結線不良 本体またはリモコンの初期不良等（注1参照）

ペンツタイプ（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑／白または黒線の結線不良
2	緑／白と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	赤線の結線不良
3	緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	紫／白線の結線不良
4	緑／白と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線の結線不良 左が点かない⇒黒／白の結線不良 右が点かない⇒黒／緑の結線不良
6	本体を接続し、リモコンで動作させる。	ロック・アンロック	青／白と緑線の結線不良 本体またはリモコンの初期不良等（注1参照）

検査ピンは、書類を留める金属のクリップ等を1本または2本ご用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作して下さい。



B・Cタイプ（検査ピン2本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑と黒の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、 緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	緑、黒、緑／白または赤線の結線不良
2	緑／白と青／白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、 緑と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	アンロック	青／白または緑線の結線不良
3	緑と青の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、 緑／白と紫／白の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	青または紫／白線の結線不良
4	緑／白と青／白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、 緑と紫の穴に検査ピンを約0.5秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線または赤線の結線不良
6	本体を接続し、リモコンで動作させる。	ロック・アンロック	本体またはリモコンの初期不良等（注1参照）

- ・2本の検査ピンは、絶対にショートさせないで下さい。
- ・ヒューズが飛ぶ場合は、青(青/白)線と緑(緑/白)線が逆に接続されている可能性があります。

（注1）配線検査で1から5番まで問題がないのに本体が反応しない場合は、取扱説明書に記載しているリモコンのセットアップを行って下さい。それでも改善しない場合は、リモコンのLEDが光っている場合でも電池が弱くなっている可能性があります。電池を交換して下さい。

- ※ 本体は、両面テープなどで固定して下さい。キックパネル内など、見えない場所でもかまいません。
- ※ 本体はドアの中には設置しないようにして下さい。水濡れや振動で故障の原因になります。